



KIKOE



古来より日本では身の周りにある木々、そこから生まれる木材に囲まれた生活をしてきました。

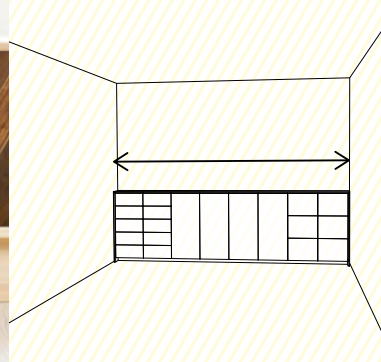
自然を受け入れ、そして巧く活用するという思考が日本独特の文化を育んできました。

しかし現在、森林には十分な手入れが行き届いておらず、国内林業そして木工業はもはやサステイナブル（持続可能）からほど遠い状態が続いています。

代表的な国産材である杉はクリプトメリアヤポニカ（隠された日本の財産）という学名を持つ日本の固有種です。暖かく優しい肌触りを持つ杉は、正倉院の宝物を1300年守ってきた調湿・調湿作用やオゾン・ホルムアルデヒド等の吸着作用も近年注目を浴びています。他にも癒しの芳香を持つ桧、魅惑的なコントラストの杳目を持つ松など、国産の木材はまだ家具や日用品としての可能性が十分に模索されていないのではないかと感じています。

日本人が長く付き合ってきた愛すべき様々なクセのある木材を、従来の国産材家具の和のイメージではなく今日暮らす人々にとって楽しい愛着が生まれる、木の良さを新鮮に感じられる生活道具として世に届けたいとの思いから、2015年にKIKOEは生まれました。

オーダーメイド家具・家具リフォームを得意とする株式会社溝川の職人が京都府京丹後市の工房でスタンダード寸法または据付け型を含む自由な寸法でお仕立てするだけでなく、ご希望により思い思いの記憶が染み込んだ古家具の一部を組み入れることができるのもKIKOEの特徴です。



KIKOEの特徴である、経年変化や独特の芳香を存分に楽しめる無塗装仕上げの他、オイルワックスによる杳目を活かした表面保護も可能です。また、すっきりとしたサンドペーパー仕上げだけでなく、一部家具では立体的な杳目に触れなくなる浮造り（うづくり）仕上げの鏡板もお選び頂けます。

思い思いの記憶が染み込んだ古家具の一部を部材として組み入れてお仕立てすることもできます。KIKOEの古材ストックからご提供することも可能です。

扉や引出しの選択、棚の有無などもカスタマイズできる他、それぞれの空間や用途にピッタリと沿う据付タイプを含む自由な寸法でもお仕立て可能です。





木の声が聴こえる暮らし



日本は国土の3分の2という
森林にとっても恵まれた国です

その豊富な森林資源にもかかわらず
輸入材の使用が約8割を占めています

わたしたちは

わたしたちの周りにある木の存在を感じながら

暮らしたいと考えています

古来より深く付き合ってきた杉や桧などの国産材を

今日の暮らしに楽しく馴染むように
木の良さを新鮮に感じられるように

オーダーメイド家具や日用品として

職人が丁寧に仕立てています



京都府産の杉・桧を主とする国産材の買い付けから製材・天然乾燥・木取り、そして加工・組み立て・仕上げまで株式会社溝川および京丹後市内の木工所が手がけることにより、KIKOEの家具や日用品は生まれます。無垢材の魅力の特徴とするKIKOEの製品づくりには、それ故に反りや割れなどの難しさもあります。それでも困難な課題に対して経験豊かな家具職人同士が知恵とアイデアを交換し、様々な木工道具や機械を駆使しながら試行錯誤し、製法を工夫することで問題を解決していく過程はKIKOEのものづくりにおいてなくてはならない楽しみとなっています。

木と対話しながら仕立てられたKIKOEの家具や日用品に息づく、職人のひと手間ひと手間を永く楽しんでいただけたら幸いです。



株式会社溝川について

昭和35年、当時京都府中郡と呼ばれていた地で初代・高杉護により家具・建具の製造を手がける溝川家具店は生まれました。

その後、世の中が大きく変わり量産品がもてはやされるようになって、一人一人の使い手のことを想像しながらものづくりをしたいという思いは創業当初から変わることはなく、オーダーメイドの家具・建具・調度品・什器のデザインおよび製造を強みとし続けてきました。また、身の廻りにあるものを大切にしたいという思いから、中古家具の修理やリフォームも手がけるようになりました。

丹後ちりめんや天橋立で知られる京丹後は曇り空の日が多い土地です。だからこそ、それを吹き飛ばすような、明るく楽しい気分にしてくれる家具をこの土地でつくり続けていきたいと思っています。





www.kikoe.jp

info@kikoe.jp

2016年11月発行

株式会社 溝川

〒629-2501

京都府京丹後市大宮町口大野104

phone 0772-68-5678

fax 0772-68-0832

www.mizokawa.jp